

# 芦屋町教育委員会会議録

令和7年第6回定例会

日 時 令和7年6月2日（月） 午前10時00分 ～ 午前11時10分

場 所 芦屋町役場3階 課長会議室

|        |       |           |
|--------|-------|-----------|
| 「出席委員」 | 委 員   | 長 戸 隆 弘   |
|        | 委 員   | 井 上 弘 行   |
|        | 委 員   | 森 山 真 奈 美 |
|        | 委 員   | 佐 伯 慎 也   |
|        | 教 育 長 | 三 柘 賢 二   |

|            |         |         |
|------------|---------|---------|
| 「委員以外の出席者」 | 学校教育課長  | 木 本 拓 也 |
|            | 生涯学習課長  | 本 石 美 香 |
|            | 指 導 主 事 | 坂 口 博 章 |

|       |       |         |
|-------|-------|---------|
| 「書 記」 | 学校教育係 | 山 本 朝 香 |
|-------|-------|---------|

## 「議事日程」

第1 会期の日程

第2 会議録署名委員の指名

第3 教育長提出議案

第4 協議事項

第5 報告・連絡

○主体的・対話的で深い学びの実現を図る学びのプロセス（案）について

○令和7年度教育委員会訪問について

○令和7年度海外ホームステイ事業派遣者選考結果について

○令和7年度英語体験活動について

○6月、7月の行事予定について

第6 その他

○青少年体験活動事業への参加状況について

## 「開会宣告」

**○教育長** ただいまから令和7年芦屋町教育委員会第6回定例会を開会します。

— 開会宣告 午前10時00分 —

「会議録署名委員」

○教育長 本日の署名委員は、森山委員と佐伯委員をお願いします。

### 第3 教育長提出議案

○教育長 本日提案の議案はありません。

### 第4 協議事項

○教育長 本日協議事項はありません。

### 第5 報告・連絡

#### ●主体的・対話的で深い学びの実現を図る学びのプロセス（案）について

○教育長 主体的・対話的で深い学びの実現を図る学びのプロセス（案）について

○指導主事 （主体的・対話的で深い学びの実現を図る学びのプロセス（案）について説明※資料のとおり）

〔概要〕芦屋町では、こどもたちの学力向上を図るため、個別最適な学びと協働的な学びを組み合わせた授業改善を進めています。こどもたちが主体的に課題解決に取り組み、多様な他者と協力しながら学ぶことを重視し、ICT活用を含めた教育手法を採用しています。

授業は「課題把握」「課題解決」「振り返り」の3段階で構成されており、こどもたちの活動を支援する教師の工夫が求められます。国が示す令和の日本型学校教育の目標に準拠し、一人一人の成長を促す指導法が計画されています。この計画は、先行研究をもとに、つくば市のアクティブラーニング研修で得た知見や、現在文部科学省の視学官の資料を参考に作成しました。6月の授業改善委員会および校長会にて検討し、各学校で授業に反映させることを目指しています。

○教育委員 言語能力育成のための読書活動の充実について言及されています。この部分が重点事項でなくても、学校として軽視しないしてほしいと考えます。

○指導主事 日常的な読書活動の推進については、これまでも福岡県教育委員会が進めてきたところですが、福岡県では、読書活動の回数を以前は必ず週3回位置付けるよう学校に依頼していましたが、それが年々減ってきています。そのことも含め、学校においては読書活動を十分に行うことによって、言語の習得もでき、自己表現にも役立っていくところもあるので、これはなおざりにできるものではないと考えています。

○教育委員 「一人一人に応じた学習活動・学習課題の提供」とは、日頃の授業やテストで提供するのですか。

○指導主事 学習指導要領には、こどもたちの個々の特性に応じた指導を行うことが示されています。これまで学力差に応じた習熟度別指導を実施し、複数の教師が関与する取り組みも行われてきました。今回の「個別最適な学び」は以下の2つに分類されます。

① 学習内容の確実な定着を図るための指導の個別化

② 一人一人に応じた学習活動・学習課題の提供

こどもの理解度はそれぞれ異なるため、個々のこどもに適した学習メニ

ユーを提供することが求められます。例えば、より発展的な内容を学ぶこどもには追加資料を提供し、理解の広がりがないこどもには別の学習機会を用意するなど、柔軟な対応が必要です。こうした指導方法を通じて学習の個性化を図り、最適な学びの実現を目指します。

○教育委員

ICTの活用頻度はこれまで以上に増えるのでしょうか。

○指導主事

ICTの活用は今後さらに増えると考えています。ICTならではの学習方法の幅を広げることが可能です。

○教育委員

この学習プロセスの成果は、どのように評価されるのでしょうか。

○指導主事

現在、各学校から意見を集めながら具体的な評価方法を検討中です。このプロセスは小学1年生から中学3年生までの9年間、すべての教科に対応できるよう設計されています。すべてを導入するのではなく、教科の特性に応じて必要なものを選択し、適切に活用することを目指します。授業改善委員会において、必要な要素を精査し、学校への導入方法について議論を進めていく予定です。また、一部の教師のみが理解している状況では効果的な授業改善は難しいため、すべての教師への周知方法も検討する必要があります。

○教育委員

今年のプランの変更点や注意すべき点を教えてください。

○指導主事

これまでも「一人学び」と「協働学び」は芦屋町の授業の中で位置付けられていました。「一人学び」は児童自身が問題解決の手段を模索する過程を指し、「協働学び」は意見交換を通じて思考を深める過程を指します。今回の計画では、9年間の学びの流れを見通し、各学校・教師の裁量のもとで授業を設計することによる不整合を防ぐ枠組みを整えました。さらに、教科ごとに適した方法を選択し、すべての内容を網羅するのではなく、各教科にふさわしい学習法を見極めるアプローチを採用しています。

○教育委員

学校現場において、この資料をもとに授業を改善する際、具体的にどのような変化が求められるのか分かりづらいつ感じます。授業の進め方はどのように変わるべきでしょうか。

○指導主事

これまでの授業では、教師が提示した学習課題に対し、多くのこどもたちは同じ方法で取り組むことが一般的でした。しかし、今回の変更では、こどもたちが自分に合った解決方法を選択することが重要になります。例えば、個別で取り組むか、ICTを活用するか、友人と協力して進めるかを判断し、その選択を基に協議しながら課題解決を図ります。

○教育委員

先生方には、こどもたちの考えを否定せず受け止めた上で、さらに適切な答えを導き出す役割が求められると思います。その点において、先生方の指導方法に変化が必要ではないでしょうか。

○教育委員

こどもたちがそれぞれ解決方法を考え、それを授業に組み込むことは非常に重要だと考えます。ただし、すべての授業にこの方法を適用するには多くの時間を要するため、単元ごとに適切な時間配分を決める必要があります。また、学習内容の定着にも十分な時間を確保することが求められます。

- 指導主事 年間を通じて、個々の学びに適した授業は必ず存在するため、時間をかけて丁寧に指導し、しっかりと習得させることが重要です。この点については、教務の先生方を中心に各学校で具体的な方針を検討し、適切な学びの場を構築していくことが不可欠だと考えます。
- 教育長 芦屋町では、この学習モデルの定着を目指し、指導主事を中心に各学校と連携しながら取り組んでいきます。

### ●令和7年度教育委員会訪問について

- 教育長 令和7年度教育委員会訪問について
- 学校教育課長 (令和7年度教育委員会訪問について説明※資料のとおり)
- [概要] 6月12日(木)には、芦屋中学校を訪問し、午後に授業を参観した後、教育指導計画について協議を行い、教職員と教育委員会で意見を交換します。
- 6月20日(金)には、北九州教育事務所と合同で芦屋小学校を訪問し、午前中に授業を参観した後、学校経営状況の説明を受け、学校課題について協議を行い、人事管理班の説明を受けます。
- 6月30日(月)には、山鹿小学校を訪問し、給食を試食し、授業を参観した後、協議と意見交換を行います。
- 7月1日(火)には、芦屋東小学校を訪問し、午後に授業を参観した後、教育指導計画について協議を行い、教職員と教育委員会で意見を交換します。
- 教育長 学校訪問については、この日程で行いたいと思いますので、よろしくお願ひします。

### ●令和7年度海外ホームステイ事業派遣者選考結果について

- 教育長 令和7年度海外ホームステイ事業派遣者選考結果について
- 学校教育課長 (令和7年度海外ホームステイ事業派遣者選考結果について説明※資料のとおり)
- [概要] 10人の募集に対して、14人の応募がありました。選考の結果、派遣者を9人決定しました。男子2人と女子7人です。9人全員が英検3級以上の取得者で、うち女子2人は準2級を取得しています。
- 選考に漏れた生徒は、英語検定を取得していない、もしくは4級、5級しか持っていませんでした。3級以上を取得していることを条件に募集をしていたため、選考から漏れたという結果になりました。
- 出発式及び報告会につきましては、教育委員の皆様にご案内をさせていただきますので、ご出席いただければと思います。
- 教育委員 応募してきた生徒の中で、英検3級を取得していない生徒がいたということですが、その生徒たちは応募要件を理解せずに応募してきたのでしょうか。
- 学校教育課長 今回の募集期間中に、事前の説明会を行っています。この説明会において、英検3級が応募要件となることを説明し、募集案内の中にも参加条

件に英検3級と明記していました。その結果として応募してきたので、なぜ応募してきたのかは、わかりません。選考は2回行った結果、英検3級以上を持っている、持っていないというところで差が大きく、英検3級以上を持っている人が合格者となった次第です。

- 教育委員** 今回3年生に限って募集したわけではないわけですね。
- 学校教育課長** 募集対象は中学校2、3年生でしたが、2年生からの応募はありませんでした。
- 教育委員** それは、2年生の中には英検3級を持っている生徒がいないということですか。
- 学校教育課長** 2年生の中には英検3級を取得している生徒はいます。
- 教育委員** 今年は昨年度よりも応募者が少なく感じました。また2年生がいないのは、なぜなのかと気になりました。英検3級以上というところで、応募者が限定されるのかなと思いました。
- 学校教育課長** 昨年度のホームステイ事業が終わってから、中学校では先生方がホームステイに行くためには英検3級以上の取得が必要ということを1年間生徒に伝え続けていました。募集を開始するときも英検3級以上が応募資格であると説明しています。結果として、選考の中で優劣がつき、英検3級以上取得している生徒が合格者ということになりました。
- 教育長** 2次選考が5月21日にあり、5月30日に英検試験がありました。この30日の英検試験で3級を取るという前提で応募した生徒もいると思います。
- 教育委員** その生徒たちは4級も持っていなかったのですか。
- 教育長** 4級を持っている生徒や、いきなり準2級を受けた生徒もいました。応募条件を理解せずに選考を受けたのではなく、5月30日の英検で3級以上を取る前提で応募したと思います。
- 教育委員** 合格しましたか。
- 教育長** まだ結果は出ていません。
- 教育委員** 私は、応募資格は英検の有無に関係なく、もっと広げていいと思っています。海外に行ってみて、英語を勉強したいと思う方もいると思います。英語が全くできない状態でもいけるのでしょうか。
- 教育長** 厳しいと思います。
- 教育委員** 厳しいという現実を気づくこともいいのかなと思います。
- 教育長** 考え方は非常によいと思います。ただ、選考結果を見たときに、客観性があるかどうかは問題となります。
- 教育委員** もちろん生徒の成績や、いろいろなものが加味されていいと思います。選考結果で、10人いけるところが9人しかいけないことが損している気がしています。もう1人の枠が、町の選考ルールによってはじかれてしまうのは、とてももったいないと思いました。応募資格に英検3級の条件がなければ、もっと応募者がいて、もっとユニークな方が応募してきたかもしれないので、いろいろな考え方があるのではないかと思います。
- 教育委員** 5月30日の英検試験結果後の選考では遅いのでしょうか。

- 学校教育課長** 出入国手続きやホームステイ先との調整などの都合上、間に合いません。
- 教育長** 学校でも、ホームステイに行くためには英検3級以上が条件であるというアナウンスをし続けていたことから、英検3級以上の取得というのは、客観的なルールなため、今回9人に決定しました。
- 教育委員** 選考においては、町内の行事に積極的に関わった実績なども加味されていましたか。
- 教育長** 選考に申し込んできた生徒は、生徒会関係や部活で部長や副部長をしている生徒が多かったです。
- 教育委員** ただ2年生を募集するのなら、英検3級を求めるのは厳しいと思います。
- 教育委員** 英検3級は中学校卒業程度のレベルであり、選考を受けている生徒たちは3年と言いながら、まだ3年生になったばかりです。選考の時点で既に3級を持っている生徒はかなりできる子たちだと思います。
- 教育長** 2年生の時期から、このホームステイを目指している子がいます。1年間準備して受けている生徒がいることも事実なので、このあたりもいろいろ加味した中で、9人になりました。
- 教育委員** 英検受験料の補助もありますし、ホームステイ事業とひもづけて、これからもどんどん英検を受けてもらいたいですね。
- 教育委員** 去年2年生が1人参加したと思いますが、今年はその生徒は3年生になって参加されるのですか。
- 学校教育課長** 今回、その生徒は応募していません。
- 教育委員** ホームステイ事業の参加は1人1回だけですか。
- 教育長** 1人1回ということは明記していません。
- 教育委員** 募集要項に書いたほうがいいと思います。
- 教育長** 多くのご意見をいただき、ありがとうございました。
- 県教育委員会では、今年度より英語体験活動を再開しました。このプログラムでは、ハウステンボスで宿泊しながら、オールイングリッシュのキャンプが実施されます。対象は中学校2、3年生で、芦屋町と同じです。募集要項には、「参加資格は英検4級程度以上の資格を有し、3級以上の取得を目指す生徒」と記載されていました。芦屋町でも同様の条件を設定していれば、受験者の増加につながるかもしれません。今回の選考結果を踏まえ、来年度の募集に向けて改善を加えながら進めていきたいと考えています。

### ●令和7年度英語体験活動について

- 教育長** 令和7年度英語体験活動について
- 学校教育課長** (令和7年度英語体験活動について説明※資料のとおり)
- [概要] 昨年まで募集人数は20人でしたが、今回から30人に増やしています。募集対象は小学校5、6年生で、現在学校を通じて参加者の募集をしています。引率教員は3人です。募集人数が増えたことから、各小学校から先生に引率をお願いすることになりました。
- 教育委員** 募集人数30人ということですが、各小学校から10人ずつということでは

すか。

○**学校教育課長** 在籍数に応じて参加者数を割り当てる考えはありません。まず各学校から応募者数を確認し、最終的に学校ごとの人数の割り当てをしたいと考えています。

○**教育委員** 人数が多かったら、選考になるのですか。

○**学校教育課長** 学校の意見を聞いて選考を行います。

### ●6月、7月の行事予定について

○**教育長** 6月、7月の行事について

○**学校教育課長** (6月、7月の行事について説明 ※資料のとおり)

○**生涯学習課長** (6月、7月の行事について説明 ※資料のとおり)

## 第6 その他

### ●青少年体験活動事業への参加状況について

○**生涯学習課長** 本日、ハンズ・オン・キッズとりーどぼらんていあキッズの参加状況を報告する予定でしたが、両事業とも定員を上回る応募がありました。選考抽選等を行うため、少し時間を設けることになりました。このため、今日ご報告ができません。この2つの事業につきましては、次回の定例会で報告をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

### 「閉会宣告」

7月の定例会は7月3日(木)午前10時から開催します。

8月の定例会は8月1日(金)午前9時から開催します。

— 閉会宣告 午前11時10分 —

会議録署名人 教育委員

教育委員

学校教育課長